

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	バス利用促進事業		
事業担当	まちづくり政策部 まちづくり政策課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③(利便性) 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'03	3 まちの活動に活力をもたらす公共交通の利便性を高める	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	平成22年度 ~
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
路線バスの走行環境が改善され、市民のバス利用者が増加しています。		バス停での待合環境向上のため、リアルタイムの運行状況の提供を促進します。また、定時制や速達性の向上のため、バス専用レーン等の取組を検討します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	バス専用レーン化等導入検討進捗率				単位	%
	説明・算定式	専用レーン化導入進捗率。H24:バス専用レーン化等の導入検討40%、H25:バス専用レーン等の社会実験の実施20%、H26:導入計画の策定20%、H27:専用レーン化の実施20%(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		20	40	40		
	実績		0	10			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	③:遅れている						
	遅れている理由	バス専用レーン等の検討に時間を有しているため					
平成23年度の主な取組と成果							
バス利用促進会議をバス事業者と立ち上げ優先レーンの専用化について協議しました。							
平成23年度の検証結果	C:十分に成果をあげることができなかった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平成20年に行ったアンケート結果によれば、バス停の待合環境(40%)や運行の定時制・速達性(42%)などの向上が望まれています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	バス停の待合環境や運行の定時制・速達性の向上は、バスの利用を促進し、平塚市総合交通計画でめざすまちの具現化につなげる有効な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	中心市街地への自家用車の流入を抑制し、環境にやさしいまちづくりを進めるためには、公共交通の利便性向上を図る必要があります、その目的や内容に妥当性があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	バス事業者に対する国との協調補助の活用など、事業者、国、市それぞれの適正な役割分担と負担のもと効率よく進めていく事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> バス利用を促進するためには、バス優先レーンの専用化や待合環境の向上など様々な施策を複合的に組み合わせた効率的な事業展開が必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容			バスロケーションシステムの導入	バス優先レーン及び公共車両優先システムの導入検討	バス優先レーンの専用化及び公共車両優先システムの導入検討
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	10,150	0	0
事業費 (A)		0	10,150	0	0
執行率 (%)		—	95.27	—	
内訳	職員 (人)	0.00	0.37	0.27	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	3,056	2,189	3,206
フルコスト (A+B)		0	13,206	2,189	3,206

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成25年度の取組方針</b> バス利用の促進を図るため、関係機関との連携を図り、バス専用レーン化などの導入路線や時期等の具体的な検討を進めます。
<b>課長コメント</b> 総合交通計画の戦略プランに掲げている通り、バス利用の促進は優先的に進める交通施策であり、効果的な施策の推進を図る必要があります。